

令和6年12月26日

二学期終業式校長講話

みなさん、おはようございます。86日間の二学期が終わります。長かったこの学期を振りかえって、みなさんが一番心に残っていることはどんなことですか。楽しかったこと、がんばったこと、できるようになったこと、勉強になったこと、もしかすると悔しかったことや悲しかったこともあるかもしれません。学校や学年でいろいろな行事・学習・活動があったので、一つには決められないという人もいるかもしれませんね。学校生活のいろいろなことを通して、皆さんがとても大きく成長したなあと思います。そして、こうして無事二学期・この一年を終えられることを嬉しく思います。

先日、日本漢字能力検定協会が今年の漢字を発表しました。

「金」、「きん、かね」という字です。

パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートがたくさんの金メダルを獲得したこと、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど値千「金」の活躍だったこと、「佐渡島(さど)の金山」が世界文化遺産に登録されたことなど、光をあらわす「金(キン)」と、政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件、止まらない物の価格の値上がりなど、よくない影をあらわす「金(かね)」の2つの意味を示しているということです。

私は、手良小学校の今年の漢字は何だろうと考えました。そこで浮かんだのが「結」「むすぶ」です。

「結ぶ」という言葉には、“ひも状のものをくくる”という意味のほかにも「繋げる」「まとめる」「創る」「固まる」「締める」のようなさまざまな意味があり、「人と関係をむすぶ」「契りをむすぶ」といった、人と人、物事のかかわりあいや心をつなぐ意味でも使われます。

次の3つのことから手良小学校の今年の漢字として「結ぶ」を選びました。

一つ目は、地域の方の思いを結びなおす太鼓体験

二つ目は、手良保育園と手良保育園を結ぶ交流活動

三つ目は、地域のみinnと結び付きを深める手良秋祭り

今年は一学期に、祭り工房の中森さんに教えていただき、太鼓体験を行いました。

新型コロナが流行る前、手良小学校では毎年の音楽会で、各学年の歌と合奏の他に、全校で太鼓の演奏を発表しており、音楽会を聴きに來てくださる皆さんが毎年楽しみにしてくださっていました。

この太鼓の始まりについてお話します。

今から27年前、当時の中山校長先生が、手良の地名にちなんで、「手でよいことをしよ

う」「手によいことをしよう」を合言葉に、小さな学校として地域と一緒に学校づくりをしようと考えていました。

(先日行われた「親子ふれあいトンカチ教室」も、この思いをもとにして、手良にたくさんおられる大工さんと一緒に、手を使って、金づちで釘を打って木工作品を作ろうと始まった活動です。)

以前、手良小学校にあった大きな和太鼓を探しましたが、学校中探しても見つかりませんでした。

しかし冬の大雪で体育館の南の倉庫が崩れ落ち、たまたま、そこから古くぼろぼろの大きな和太鼓が見つかったのです。その和太鼓を修理し、さらに新しい和太鼓を購入して手良小学校に和太鼓隊を結成しようと思いました。

そこで、手良秋祭りを企画してくださった、手良地区活性化促進会議に提案し、小学生だけでなく、地域の誰もが自由に使える、地域の共有財産として購入し、新しい手良の伝統を作って地域の活性化に役立てたいと、地域の皆さんに呼びかけました。中山校長先生の思いに賛同し、地域の企業、手良地区に暮らす人々から900万円近い寄附が集まり、今体育館の隅に置かれている太鼓一式やステージ袖に置かれている道具等を購入することができたのです。

「好奇心旺盛な低学年の内から男女の枠を超え、心を一つにして、汗をほとばしらせ、スポーツ同様体力をつけ、連帯感を育み、明るく元気な子どもたちを育てたい」という中山校長先生の思いに共感し、お金を寄附してくださった皆さん、そして毎年、太鼓の演奏を楽しみにしてくださってきた皆さんの思いが、この太鼓には詰まっているのです。

全員が自分の手でばちを握り、思い切り太鼓を打つ体験を、形を変えて再開することが、地域のみなさんの思いを結びなおし、再スタートをきることになったと思います。そして、また何かの機会があれば和太鼓の全員演奏を披露できたらと思います。

二つ目は、手良保育園との交流です。1年生が年長児さんとドッジボール、音楽会の練習の様子を見に来てもらう、4年生が年長児さんと野口方面へお散歩、5年生が年長児さんとしめ飾りづくり、3年生が年長児さんを招待してクリスマス会など、これまでになかった保育園の友だちとの交流をそれぞれの学年で行ってくれました。

三つ目は、前にも話しましたが、手良の秋祭りでは、地域の方に楽しませてもらうお祭りから、地域のみなが楽しんでもらえる手良の秋祭りをするために、自分たちができることを考え、全員が何らかのかかわりをもって秋祭りに参加することができました。

来年へ向けて、さらに人と人の関わりを結ぶ、学習や活動を充実させていきたいと思っています。

最後に、伊那市を含む上伊那郡では、12月に入ってインフルエンザウィルスが一気に流行しています。年末年始は親戚に新年の挨拶に出かけたり、神社やお寺に初詣に出かけたり、初売りのお店に買い物に出かけたりして、人の動きがとて多くなります。インフルエンザウィルスへの基本的な感染対策を正しく行って、体調を崩さないように気をつけてください。また、交通安全にも注意し、交通事故に合わないようになししょう。

それでは、皆さんよいお年をお迎えください。そして、1月9日、全員で新年の挨拶を交わししょう。終わります。